（日刊）（明治四十一年七月四日第三種郵便物認可）　明治四十一年七月十五日　京城新聞　（水曜日）　第九號　（一）

京城新聞

◉蓄音器 各種 新音譜 各種 新荷着
東京三光堂 蓄音器韓國總代理店
京城本町 辻屋 本店電 二四八 支店電 三六六

韓國の富力（下）

「日本帝國之富力」著者 高橋秀臣

日韓兩國の富力各項比較

	日本	韓國
（一）土地の富力	一二、六〇九、二二九、四五三	一、七六六、九四八、七三二
（二）家屋及倉其他建造物の富力	三、六一六、二三五、七〇〇	一一七、六〇〇、〇〇〇
（三）家財及美術品の富力	一、八三六、六七四、一六四	二六、二二〇、〇〇〇
（四）家畜其他動物の富力	一二〇、一四二、三三〇	四三、二六五、六二五
（五）鑛業の富力	五八三、四六二、八五〇	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
（六）水產の富力	八一一、九七三、八九〇	一一〇、〇〇〇、〇〇〇
（七）電氣瓦斯及水道馬車の富力	一一四、八七五、一八〇	一、〇〇〇、〇〇〇
（八）船舶の富力（但船舶中には軍艦をも含む）	二八九、二五四、八三九	二、七〇五、〇〇〇
（九）金銀貨幣及金銀塊の富力	二一一、五五二、九一八	七、八七六、〇〇〇
（十）諸會社銀行事業の富力	八二五、五　八、五〇六	二、二二二、五〇〇
（十一）諸貨物商品の富力	九九七、六四九、七一四	一一九、一一五、二二五
（十二）鐵道電信電話の富力	七二五、四一七、八九〇	七六、八〇〇、〇〇〇
（十三）圖書文庫の富力	（調査を缺く）	二五〇、〇〇〇
（十四）港灣河川の富力	（調査を缺く）	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
總計	二五、一四三、〇八九、五七六	二、五二四、〇〇三、〇八一

新刊紹介

●法律經濟論題輯覽● 一名專門家論說索引總目錄といふ内容は讀んで字の如く斯學に關する各專門家の論文を讀者の欲するがまゝに何時にても容易に繰り出し得べき極めて重寶なる冊子なり而して之が各專門家の論文の材料は專ら專門雜誌に依りたるものにして論題は約五千項に分ちあり（定價六十錢東京神田區仲猿樂町巖松堂發行）

●商業科講義錄● 講義の科目は總体十三科にして其の他に科外講義參考科の二科あり叙述丁寧行文平易遠隔の人と雖も容易に了解し得べく恰かも面の當り師に就て學ぶに異ならざるべし（一部二十錢大阪市西區土佐堀大日本商業學會發行）

●憲政本黨々報● 論說には加藤政之助氏の「政務調査の必要及項目」を載せ其の他時事黨報等掲げあるが依例最近政界の形勢一目の下に瞭然たり（一部十錢東京芝烏森町憲政黨本部發行）

●一銀支店月報● 同韓國支店に於ける五月中の營業狀況を記述せるもの最近韓國に於ける經濟界の狀況を知らんと欲するもの〻好參考書たるべし（一銀韓國支店調查部編纂）

●商業界● 不相變賑かな雜誌なり商人としての處世法及商賣の仕振り等號を重ぬるに從つて益々讀者を喜ばしむ殊に本誌には大懸賞あるを以て一般の歡迎盛んなり（一冊十五錢東京同文館發行）

小說 新不如歸（五十三）

篠原嶺葉著

「まあ、誰方かと思へば貴方は足柄さんぢやございませんか。」

と、奈加子が云へば、

「はい足柄です、なか／＼御樂しみでございますね。」

と、微笑しながら二人の傍へ鼎座に構へた。

「一体奈何して此處にれ在でなすつたんです、隨分貴方もた人が惡ふございますね、私はあんまり吃驚して膽玉も何も縮み上つて了ひました。」

と、猿渡は酒の醉も一時に醒めたと見ゑ、眞靑な顏をして云つた。

寔に次の室から突然現はれたは足柄平太であつたが、彼男は二人を冷やかに見て微笑しながら、

「君にも似合はん弱音を吹くぢやないか、那麼小さい膽玉で能くも這麼樂みを爲たり惡い企みの相談なんか出來るね。」

「では、今の話しをれ聞きなすつたんですな。」

「聞くも〱殘らず聞いた、聞いたからこそ智惠を貸さうと云つて出て來たのぢや奥さん、噫貴方も驚きなすつたでせう、御安心なさい、出て來たからにや貴方々の味方です、決して仇は致しませんよ。」

と、莞爾すれば、

「眞個私いまだに御覽なさい、こんなに顫へてるんです、まあ吃驚したの爲んのと云つて、こんなに吃驚したことは生れてから始めてゞす、私奈何致しませう、眞個穴へでも入りたいのです。」

と、聲も亂次である。

「なあに、那麼御心配が要るもんですか、れ行りなさい、れ行りなさい、澤山れ行りなさい、猿渡君も獨身、貴方も獨身、誰に遠慮が要るもんですか、さほど私に見付けられてれ可厭と思ひなさるなら、れ禮にれ盃を一つ頂戴したいもんです、あは〻〻。」

「これは失禮いたしました、あんまり驚いたもんですから、何の氣なしに居りましたさあどうぞ召上つて下さいまし。」

と、杯を清めて差した、足柄は愉快さうにそれを受けて、

「しかし、僕が突然飛び出して、貴方方の御樂みの邪魔をしたので、定めて御立腹かも知らないですが、これには深い事情があるです、まあどうかれ聞き下さい。」

二人は言合せた如く、足柄の顏を瞻めると足柄は聲を潛めて、

「僕は貴方等の御愉快筋には、少しも關係はないんですが、今御相談の百合子さんの離緣と云ふ事に就いて智惠をれ貸し申さうと云ふのです、何故かなれば有体の事を云へば、僕は非常に百合子さんに惚て居たのです、それで媒酌人をもつて結婚の申込みを爲たのですが、其時は既に外へ相談の纏つた後だつたです、殘念で堪らなかつたけれども致方がないと斷念して了つたです、所が尾花君が妻君を迎へたと聞いて悅に行つて見ると、豈計ちんや、自分の戀女が其の妻君に來てるんでせう、それを見ると斷念した未練が勃々と湧て殘念で殘念で堪らないですけれども既に自分の同僚の妻君になつてるのだから殘念ながらも又勃立つ戀を抑ゆたのですが時々思ひ出すと堪らない事があるです、所が今晩此處へ來て隣座敷で藝妓の來るを待つてると、貴方かたの今の話が不斗耳に入つたから、これは勿怪の幸ひだと思はずこれへ飛び出したです。」

と云つて酒をグッと呷つた

▲京龍醫師案內▼

入院隨意　京城壽町三丁目（元阪井病院跡）　高井醫院（電話二一六番）　院長　陸軍三等軍醫正　高井貞治

病室新築入院隨意　內科、小兒科、花柳病　眼科、外科、婦人科　京城壽町三丁目　淸水材木店跡　院主　醫學得業士　中島貞信　中島醫院

應診療　龍山旭橋通　久木田醫院　入院隨意

入院隨意　龍山老松町　上田病院　電話一一八番

入院隨意　內科　眼科　婦人科　小兒科　南山町三丁目　吉田病院

入院隨意各科診療　共立病院　京城本町六丁目

京城西小門通り　京城醫院分院　院長　菅恒

黴毒　漢疳皮下注射療法　包莖無痛手術　內科　外科　婦人科　眼科　小兒科　京城南大門通一丁目日の出旅館に　戸田病院

見習看護婦募集す希望者は本人來談あれ　新皇城　日韓病院　大漢門前

內科　外科　婦人科　入院隨意　京城南山町二丁目　植村病院（電話三三〇）

●●入院隨意●●　京城本町七丁目　小川病院　電話六五三

▲京城辯護士案內▼

辯護士　元判事　法律學士　岩田仙宗　明治町二丁目七十五番戸　佛國教會表門前　電話三五四番

辯護士　藤井太郎　本宅　京城東大門外玄暎運別莊　事務所　京城旭町二丁目

辯護士　明法學士　前代議士　高橋章之助　事務所　銅峴三十三統五戸（明治町突當）電話二五六　本宅　京城本町五丁目　電話二二四（長距離）

辯護士　莊子斌　京城理事廳前

辯護士　皆川廣濟　京城南山町一丁目山手（電話八五七番）

京城旭町三丁目　永井法律事務所（電話二三八）　辯護士　永井道忠　辯護士　白井勝悟

辯護士　大久保雅彦　京城旭町二丁目（電話八三九）

見落す勿れ　韓國唯一の土產

滋養強壯　人參飴　賜東宮殿下御買上之榮　淸國領事館御買上品　韓國京城博覽會褒狀受領ス　世界第一等の滋養品　牛乳鷄卵に優る功數倍　元祖發賣元　京城本町二丁目　井口順生堂藥房

特約大販賣　本町三丁目　龜屋商店　本町一丁目　靑木堂

特約販賣店　開城南大門外　瀧井大藥房　平壤大和町　森田大藥房　同大同門通　新井大藥房　仁川港宮町三丁目　篠永大藥房　釜山幸町　大黑南海堂

販賣店　京城本町一丁目　山岸天祐堂　同二丁目　荒木壽生堂　同三丁目　近藤貴生堂　同四丁目　古城賛化堂　同五丁目　丸正藥房支店　同七丁目　河又大藥房　同八丁目　稲田大藥房　龍山旭町　田島大藥房　龍山　松下大藥房　林大藥房

特約店　本町二丁目　井口順生堂藥房　同　荒木壽生堂藥房　同　近藤貴生堂　同　古城賛化堂　平壤大同門通　新井回生堂

警視廳御檢查濟　製造監督藥劑師　濱口源太郎　一朝日印ポンス、　ポンスは飲料水或は氷水等に混和すれば水傷の憂を省き且つ其の味甘美にして夏季衛生飲料の親玉なり　製造本舖　京城本町二丁目　井口順生堂藥店（電話一九九番）　京城一手特約販賣所　京城本町七丁目　富田商店

明法學士　訴訟代理人　小川勝平　事務所　京城本町一丁目（電話四壹番）　大邱東門外

賃貸或は賣却　京城鍾路通り一丁目　二層洋屋及韓式住宅　造作は專ら日本式使所及湯殿は新設也　右弊所使用の爲今回移轉すべきに付賃貸或は賣却可仕候間御望の方は御來談被下度候也　鍾路　精成組事務所

▲流行の魁 新柄あり地帶あげ其他種々取揃へ店頭へ陳列致置候間御散步御來觀被下度候

京城本町一丁目 ゑり德商店

京城新聞

ノーウオヤウレーミヤの評論を笑ふ

野村領事の報告に係はる露紙新時報の東洋拓殖會社に對する評論は徹頭徹尾猜疑的觀察より來れる謬見なり、日本の事とし云へば總てに於て猜疑的眼を以て批評するは新時報の特調なり、日露戰役以前に於ては同紙が政府の機關として列國間に多少重せられしも、輓近政府の手を離れ獨立して以來列國亦其說に重きを置かざるも、穩和なる民論を代表する新聞として國內に勢あり之が爲に露國民が日本の眞意を誤解するに至るを慨とするのみ。

抑も新時報は何が故に日本の極東經營に斯の如き猜疑の眼を放て偏傾誤謬の評論をなすか、余輩の知る處を以てすれば主筆メンシコフなる人物が大の日本嫌ひなるに基因せずんばあらず、メンシコフは能文の士なり、然れども感情的の人にして其言動往々奇矯に奔り時に極端なる議論をなすことあり、彼が非日本の感情よりして總て日本の經營に批難を加ふるなり、日露戰役當時に於ける彼が熱狂なる所論を見ば思ひ半に過るものあらん、列國の同業者は能く彼の人となりを知る、故に此等評論の爲に列國の有識に誤らるゝことを憂へざるも、我當局者が此謬れる評論の爲に遠慮するが如きことなきやを懸念せらるゝなり、從來我政府が外國新聞の評論に懸念すること甚しければなり、今更新時報の所說を駁するも大人氣なけれど、我東洋拓殖會社を以て侵畧的機關の如く邪推して、露國の危險を感ずると云ふに至ては餘りに恐日病に罹れるの甚しきを笑はざるを得ず、日本にして侵略的意志あらば東洋拓殖會社を創立するに及ばず、日露戰役前に於ける露國の滿洲經營とは全然趣を異にするなり、我は唯極東平和の爲に滿韓の經營をなすのみ、滿韓の經營は日本帝國の自衛なり、之れ列國が我滿韓經營を是認する所以なり、如何に非日本の感情より來れる評論と雖も余りに迂濶にして唯憫笑するの外なし。

然るに斯る滑稽極る評論に對して、聊にても其施設に遠慮するが如きことあらば更に嗤笑せざるを得ず、我當局者は斯る謬論に頓着することなく斷乎として所信を實行し着々帝國の大陸政策に就て堅實なる地步を占むべきなり、滿韓に於て我國民的勢力の蔚然として樹立したる時こそ眞に極東平和の確保されたる時なり、極東に於ける帝國の任務は盡くされたるなり、帝國の大陸政策は此任務の遂行に外ならず、極東平和の確保は帝國の使命なり。

東京電報

▲新內閣の成立

本日午後二時新任式あり各大臣の顏觸れ左の如し（十四日發）

總理大臣兼大藏大臣 桂太郎
外務大臣 小村壽太郎
陸軍大臣 寺內正毅
內務大臣 平田東助
海軍大臣 齋藤實
司法大臣 岡部長職
文部大臣 小松原英太郎
農商務大臣 大浦兼武
遞信大臣 後藤新平

▲外相兼任

外務大臣は小村壽太郎氏に決定せしも同氏の歸朝迄は寺內陸相之を兼任する由

▲新內閣と進步黨

新內閣は進步黨を率ひて議會に對するの方針を取り大隈伯の親近なる岡部長職子を入れ後藤男又進步黨議員中二三十名の乾兒あり來る議會は或は解散を見るならんか（十四日發）

雜報

●統監出發の光景

時間は徐々と迫り來りぬ、見送り人は堵の如く停車場前面廣場は人力車と乘馬とを以て埋りぬ、時計は四時三十分となる、統監の來る將さに近し、警衛の巡查傍觀人に對して注意を拂ふ、時に機轜として二臺の馬車疾驅し來る、すは統監なりと見れば前驅るは白髭蕭颯の曾禰副統監と佐竹秘書官、跡なるは壯貌偉の長谷川將軍と副官なりき、時計は刻一刻に進む、未だ花烟は上がらず、腕車を疾驅し來るもの引きもきらず木內重四郎君、三浦理事官同令夫人、山口太兵衛君、幾多の巡查に依りて警衛嚴かしき李總理大臣、續て任度相、李軍相等續々として來り、暗哩に遑あらず、斯くする中一輛の腕車疾驅り來る如何なる機會にや物の美事に轉覆せり、車上の人は何人ぞや、之れぞ農商工部次官より內部次官に轉せられたる岡喜七郎君ぞと聞きぬ、されど幸に何等の怪我もなく唯金筋服が土に塗みれたるのみ、時は頻に進むも統監來らず、同業者も續々來る、大村大朝君、小幡タイムス君檜崎大每君、戸叶大韓君早く既に來りてプラットホームを逍遙せるを見受けぬ、近頃有名なる此經通信員君も來れり、久田時事君は見へざりしが何處にありしや、時は來りて一發の烟花は打上げられたり、二頭曳の親馬車は南大門通を疾驅し來れり、軈て停車場に着せられぬ、白の統監服にて例の如き薫深き袴葉を啣へつゝ悠然として下車し靜に步をプラットホームに移せり、記者公が頽齢にも拘らず毎時も壯快なる顏色を見るにつけ心强く感せらる、其間數發の烟花は打上げられたり、熊谷民長君の用意頗る周到なり、之に續て鶴原君、古谷君等來る元老金允植の姿未だ見へず、抑も何處にありや、記者は彼處此處を見廻はせど見當らず、漸くにして知り得たり金元老はシルクハットにフロックコートの扮裝にて既にプラットホームに在りき

●內帑金下賜

詔勅に基き內部大臣は內外國人の暴徒被害者を調査奏上したる事は既報の如くなるが陛下は此れに對し昨日內帑金十萬圓を御下賜あり夫れ〳〵被害者に救恤すべき旨內部大臣に命せられたりと云ふ因みに今回內部大臣が調査奏上せし被害者は內國人の殺されたるもの七百六十七人外國人七十四人にして內國人の燒かれたる家五千九百九十八戸外國人十一戸なり而して右の御下賜金は內部より各地方官廳に送付し被害者及び遺族へ夫れ〳〵分與せらるゝ筈なりと云ふ

●大臣參與官兩會議休會

昨日は統監府に於ける參與官會議統監邸に於ける大臣會議の定日なるが伊藤統監の歸朝出發日なるを以て臨時休會せり

●北韓航路の補助

咸鏡南北道及江原道の沿岸滊船航路開始のため元山の有志者韓國政府の補助を受けたき希望にて目下來京運動中なる事は昨報の如くなるが今其の當局者の談る處によれば右の航路の開通は通商漁業の上に頗る必要なるも何分現今の韓國は財政困難にして民業に補助金を與ふるの餘裕なく當分は成立覺束無かるべしと云ふ

●鴨綠江木材事件

七月一日奉天徐總督は木材分木の件に付安東縣道台へ訓電を發したるを以て道台は直に一般に分木の告示を爲したるため稍々不穩の形勢ありたるも幸に鎮靜したる事は當時直に報道したる如くなるが其後道臺交迭等あり五日迄分木延期の旨を道臺より木廠へ要求し承認を得愈々六日より道臺立會の上買收に着手したるに把頭等は木材六臺の外買收に應せず午後三時半頃に至り又々木把々頭等約二千人餘集合し檢查員の剗印を掠奪するに至り將に大事に至らんとしたるも檢查員は之を忍び其儘檢查中止をなし道臺の手を經て刻印を取戾し該犯人は道臺に於て逮捕したるも不穩の狀況あるを以て其場より引揚げたり越へて翌七日は豫想外平穩にて午前中既に九臺の買收を了し午後も至極平穩なりき玆に注意すべきは清國官憲なり木把々頭等に對しては更に威權なく其多人數集合し不穩の形勢あるにより解散を命ずるも更に之に應ずるものなき如し因に六月廿四日木材廠員が木把等の毆打負傷せられたる件に就ては目下安東縣領事と道臺との間に嚴重交涉中なりといふ

●典舖組合の組織

京城內に營業せる韓人典舖（質屋）は今回同業組合を組織し規約を定めて取引其の他を一定し同業者の利益を保護する目的にて右規約の認可を農商工部に請願中なりと云ふ

●改刷第一銀行券に就て

數年來研鑽苦心を重ね漸く改刷の運びに至りし第一銀行壹圓銀行券は愈々本年八月一日より韓國各支店出張所に於て發行する手筈となりたる由なれば之れが改刷の特色と銀行券發行の沿革等に就きて概要を記し參考とせんか

△銀行券の由來 銀行券發行前の韓國貨幣は單に葉錢のみにて其の運搬受授に多大の不便を感ずる外價格の變動甚だしく韓國經濟發展は望む可からざるの有樣なりしかば第一銀行は日本政府の許可を得て韓國總稅務司と契約して海關手形を發行し幾分葉錢の缺點を補ひしが同手形は單に關稅の用をなす外一般經濟上に充分の効なきを以て之れを中止し更らに明治三十五年五月日本政府の許可を得て今日市場に流通する銀行券の發行を見るに至り漸く貨幣としての面目を改むるに至れり

△銀行券の變遷 第一銀行券は明治三十八年八月一日韓國貨幣整理の結果韓國の法貨として公私一切の取引に無制限に流通するものと公認せられたるを以て從來の如く日本政府の許可のみによりて發行したるものとは大に貨幣上の地位を異にしたれば銀行券の意匠文字等も主として韓人間の流通に重きを置かざる可からざるに至りしより同年日本印刷局に依頼して之れが改刷に着手せり

△改刷一圓券の特色 然るに改刷の依賴を受けたる日本印刷局にては色彩、意匠、形体等に大に苦心し態々印刷局技師を歐米に派遣して色彩術を研究せしめ今回の一圓券に應用したれば其色彩の巧妙なる事如何に精巧なる寫眞機を用ゆるも到底模寫し能はずと云ふ其他中央に横楕圓形の空白を設け其中に韓國々章たる李花と巴とを陰陽に漉込みたる等は同局獨特の技術を發揮したると共に韓國法貨たるの地位を明かにしたるものにして且つ男爵澁澤頭取の肖像に更ふるに韓人の最も喜び且つ崇拜する水原府華虹門の風景を表面左方に現はし之れを唐草模樣にして環繞し尙使用の字句等に諺文を多く使用したる等韓國を本位とした用意の周到は技術の巧妙と相待つて其の研鑽苦心の跡歷然として認めらるべし

△見本券の備付け 尙第一銀行にては一般に新券を周知せしむる爲め各日韓の官衙は勿論各銀行商業會議所及び金融組合等に見本券を送付し且つ見本券を送付せざる所へは說明書を送附しあれば詳細の事は見本に就て見ば最も便宜なるべし

●外國貿易旬報（上）

（六月下旬關稅局調查）

區別	本年分 圓	前年同期 圓
輸出品價	三六七、八一四	四〇一、九二六
輸入品價	七七四、三〇一	七九七、四六五
合計	一、一四二、一一五	一、一九九、三九一
輸入超過		

本年貿易額の港別左の如し

港名	本旬分 輸出額 圓	輸入額 圓	計 圓
仁川	七九、一一九	三四九、七九五	四二八、九一四
釜山	一一二、九八二	一四〇、二五九	二五三、二四一
元山	二二、一八九	六七、一二六	八九、三一五
鎭南浦	七六、五一〇	六六、二二三	一四二、七三三
京城	—	七四、〇四一	七四、〇四一
群山	二二、〇一六	一四、九七五	三六、九九一
木浦	二一、六四七	一〇、〇五五	三一、七〇二
馬山浦	六、一七一	八、二六二	一四、四三三
淸津	—	三、五二〇	三、五二〇
城津	一〇、四五七	八、〇四〇	一八、四九七
新義州	二七、七三三	二二、九七三	五〇、七〇六
計	三六七、八一四	七七四、三〇一	一、一四二、一一五

●六月中金融狀況

（京城日本人商業會議所調）

昨年下半期以來緊縮の一方なりし當地金融市場も本年四、五月頃を絕頂とし本月に入りては土木建築等事業の勃興と共に期節物及建築用諸材料の賣行あるに至り一面各商人共漸く其金融の逼迫に慣れ期せずして警戒を加へ且つ取引手控等の結果幾分人氣落付を示したるが如し從つて當期決算期に際するも甚しき緊縮を來さず稍や小康の姿勢にあり今本月末に於ける京城日韓人側に區別し各銀行の預金及貸出金高を調査すれば左の如し

日本側三銀行

	預金		貸金
五月分	六、七〇七、五四一	貸金	三、〇三五、六二七
六月分	六、六一〇、三七八	貸金	三、〇七八、四八七
減	九七、一六三	增	九七、一六三

韓人側四銀行

	預金		貸金
五月分	七〇三、三六三	貸金	一、一三六、六六八
六月分	九一〇、七三六	貸金	一、一三四、一三〇

右表によれば日本人側即ち第一、五十八、十八の三銀行に於ける預金六百六十一萬余圓（內二百七十七萬余圓は公金及諸預金なり）にして前月に比し約九萬七千余圓の減少を示せるも其原因は多く公金及諸預金等の引出に基くものにして當地商業界の金融には多大の關係なきが如し亦た貸出に於ては三百七萬八千餘圓にして前月に比し四萬二千餘円の增加を示せり而かも此增額は多く綿糸輸入等に要する大口の出資にして一般市場金融には差異なかるべし亦韓人側預金に於ては前月に比し二十餘萬圓の增加を告げたり是れ每年の例により農繁期等の爲め一般商業不振の結果大口の取引を見ず自然資金の需要起らず重なる清韓商人の預金を爲すに至りたるに因るものにして一般金融は依然逼迫の狀態にあり然れども全般より觀察する時は市場稍や景氣付きたるの感あり下半期に於ては幾分の恢復を期待し居れり

●京商役員會

京城日本人商業會議所に於ては明十六日午後六時より左の件に付役員會を開く筈なり

一、補欠議員撰擧の件
一、稅關鑑定價格に關し關稅局に陳情の件
一、各種同業組合組織の件
一、連絡船臺航廢止に關し其筋に建議の件
一、諸官廳の民間下渡金遲延に關し其筋に陳情の件
一、月報再刊の件

●憲兵下士の募集

內地韓國を通じて憲兵下士の要員に不足あるを以て七月下旬より各兵科豫後備下士より百五十名を撰拔し特別教育を授け任用すべきに付志願者は各所屬聯隊區司令部に出願する方便利なるべしと云ふ

●憲兵補助員應募狀況

憲兵補助員募集の個所は總數二百十一個所の內七月一日より募集に着手し十三日迄に百十九個所より報告を本部に於て受け應募人員四千七百七十六名の超過を見るに至り未着の個所を合せて其數幾何なるや知るべからざる盛況にして內募集は完結個所五十一個所見習採用員一千百九十四人其職業別は元憲兵六十八人元兵卒六百五十四人元巡檢百八人其他農工商三千七百十四人なりと

●仁川商信

▲正米（行當り模樣） 過日來連日好況を持續せし坂地相場は昨今稍支ゆ氣味にて賣行惡しく一寸安摸樣の報傳はりたる爲めさしも活氣を呈せし當地市場も本日は氣抜けの如くボンヤリにして捗々しき取引もなく相場は行當り摸樣に見受けられたり

▲白米（保合） 白米は出荷薄の折柄地場需用向に弗々望手あり相場は依然保合の姿なり

▲大豆（强含） 同品は昨今頓んと塊口の入津なく日々小口物のみ弗々出廻り居るを以て目覺しき取引もなけれど好く品によりては一二十錢高にて取引されたり

▲牛皮（ダレ氣味） 牛皮は依然出荷薄なれど何分坂地は一寸買控ゐの氣味にて捗々しき望手もなく弱含み模樣との報あり慈いて當氣の人氣昂らず市況何となくダレ氣味に見受けられ大牝皮は淸國向に望手多く極めて好況を呈せり本日の處相場は忠淸道より皮中小込の二十四圓五十錢牡大皮二十七圓見當なり

●築山書記官の視察

韓國內閣書記官築山直彥氏は本邦內閣及び所屬事務視察を命せられたり

●竹山純平氏

第一銀行京城總支店（？）部長の同氏は明日發東上せらるゝ由なり

●長山囑託員

警視廳囑託なる同氏は上海新聞紙掲載の韓國に關する記事を翻譯するを專務とするものにして警察事務には全然關係なしとの事なり

公人私人

△木下重松（釜山港務官） 一昨日來京浦尾
△陣軍吉（警視） 同上
△塚原嘉太郎（仁川裁判所判事） 同上
△時尾善三郎（營林廠長） 巴城館
△沼澤七郎（道書記官） 山本

●近事片々

▲新內 閣成立す桂總理の藏相兼任は蓋方なし專任大臣の極る迄か稀藏相は何人ぞや
▲陸海 兩相の居据は可なれ共寺內の辭意頗る確なりしが終に桂に口說落されしか
▲平田 は專ら藏相と評判されしも何人が見ても適役ならず內相は多少所を得たる也
▲大浦 は內相と確定せる由報ぜられたが農商務とは意外也無論御當人の意に非らず
▲平田 の內相は大浦よりも却て可ならん其公平を保つ點に於て慥に優る所あるべし
▲併し 平田の內相は余り威嚴を缺く原敬の跡釜として遙に見劣りする武者振見物也
▲外務 の小村は適任也山縣系の外交家には小村に優るものなし今後の對外策は如何
▲遞信 の後藤は初物に適否分明ならざる閣臣として偉材也決して伴食大臣に非ず
▲桂侯 能く後藤を入閣せしめたり兎に角閣員中の大立物活動大に見るべき者あらん
▲小松 原の文部亦可也閣員として桂侯の參謀として能く働くべし併し偉材には非ず
▲司法 の岡部子は可もなし不可もなし比較的好個の法相たらん千家松田に優る萬々
▲斯く 觀察し來る餘り立派なる內閣に非ざるも先づ鞏固なることは慥に想像さるゝ
▲外務 と遞信に好個の人物を得て內閣の重きをなす望む處は藏相に適材を得るに有
▲伊藤 統監昨午後出發せらる見送り堵の如し馬關着の上祖國民は如何に歡迎するや
▲統監 歸任の當時三大條件云々風說ありて如何なる活劇あるかと皆目を刮したりき
▲風說 は漸次に雲散霧消し何等の活劇もなく眞に大山鳴動して鼠一疋の觀を呈せり
▲歸任 より今回の東上まで唯唯のみにて持切り韓人政客等奔命に疲れたりとは失笑
▲近時 社會主義鎭壓の議論喧く成る日本に於ける現今の社會主義者は多く浮浪の徒
▲斯る 浮浪の徒を取締るには又其方法あり眞に主義に殉する者こそ恐るべきもの也
▲今の 社會主義者は充分に麵麭を得るに至れば直に主義を抛つ爲政者玆に注意せよ
▲僅々 たる不心得の徒ある爲に苛酷の鎭壓をなすは案山子を人と見て驚くの類なり
▲武萊 安氏デ黨の大統領豫選投票に多數を以て撰擧さる今後タフト氏の競爭は如何
▲武氏 大に人氣を回復したるも元來デ黨振はず結局はレ黨の勝利となるに非ざる乎

(明治四十一年七月十三日第三種郵便物認可)　明治四十一年七月十五日　京城新聞　(水曜日)　第九號　(二)

▲豫　告▼

時正に炎暑爍金、滿都の人漸く惰氣を生せんとす、此の時に方り本社は一大快擧を企て以て聊か我が親愛なる京城新聞の讀者諸君に一掬清凉の氣を呈せんと欲す

何をか快擧と云ふや

然り吾人はこれを快擧と云ふ而かも其の内容に至つては今其の時機にあらざるを以て詳細を語るを得ずと雖も左に一班を記せば

二名の秘密探偵

●●即ち本社は二名の秘密探偵を出して或る種の事を探知し其の眞相を讀者諸彦に報せんとするなり、然り而ふして此の二名の密偵は本社が幾多の苦心を費やして初めて本社の爲めに盡さしむるに至りし者にして決して尋常凡庸の輩にあらざるは、豫め之を一般に告げんと欲す、而ふして此の密偵は何事をか爲さんとする、其の或種の事とは何ぞ

國事に關係あり

今回の事今爰に其内容を語るを得ずと云ふもの是れ事の眞相を探るに及んでは或は國事に關聯あらんを思ふてなり、否な此の事や必ず國事に渉るを期待すればなり、本社は此の件に就き既に二ケ月有餘注意を拂ひ居りたるも而かも輕忽に之を世に發表するを得ざる者あるを以て空しく二ケ月有餘の間只管愼重の態度を採り居りたるなり、然るに今日に及んでは其の所謂國事に關係ある夫れだけ此の上長く忽諸に附するの非なるを知りたるが故に更らに二名の老練なる密偵を放ちて一氣に事の眞相を闡明せんとするに至りし所以なりとす

二週日後を待て

去れば此の二名の密偵が晝夜間斷なく神出鬼沒の活行動を爲したる結果の發表は今後少なくとも二週日の日子を要すべきものあり、讀者諸君乞ふ刮目して待て二週日後の本紙を、該記事が一度本紙上に現るゝの日は在韓諸新聞に比して多少の異彩を放つべきものあるべきは本社今より自ら之を信せんと欲す、然れども茲に一の條件あり

記事中止の事あらん

本社が勞力と費用とを吝まずして今回の擧を企てたるは畢れ決して好奇心に驅られたるに非らざることは前に記したる處に依りて自ら明かなるものあるべし、去れば偵案の進行と共に或は記事を中止するの已むを得ざることあるやも未だ知る可ざるなり何となれば此の件や前にも陳べたるが如く事苟も國事に渉る者あればなり、若し萬已むを得ずして記事を中止せざる可らざるに於ては午道候讀者諸君の前に眞相を發表する能はずと雖も本社が費やしたる勞力と費用とは決して徒爾に歸せざるものあるべきなり、讀者諸君豫め之を諒とせられよ

以上謹告す

犯人は嚴重に捜索中に付遠からず逮捕さるべし被害の个所は九日午前九時十五分工事復舊せられ直に通信を開始せり

●南大門の管見

△伊藤統監出發の光景

統監の出發日は熱い……と思ひ乍ら社を出た、南大門通りに至ると、人車飛び、馬車走り、ヨボ行き、金筋赴き、それは〳〵當に無く忙しいこと、巡査が今日に限つて肩を聳やかして立つて居る、ソコいらの下女先生用足しの序も忘れて惘れて居る、南大門足下(我が社では南大門と呼ぶ時には必ず足下を附言する)の前にて石工がゴチャ〳〵働いて居る、此の時重ねて思ふた『統監の發つ日は暑い』と、粟嶽庵と怒山と我輩と三人ツカ〳〵とプラツトホームに入る、巡査の警戒頗る嚴なる者がある、鎭南浦理事官秋本豐之進君を初め地方から出京中の二本筋諸公が今日こそと統監閣下の威容拜見にと出掛けて居る、併し惜しいかな老統監閣下は列車の中に驅を運び込んだ後までそうとは知るまい、官吏と云ふ者は誠に忠實な者である、三浦理事官夫人が紫衣の扮裝頗る振つた者で其の良君に手を牽かれて入つて來た、此の時同業者は誰れ〳〵が出て來たろう……と云ふので扨てなと眼をむいたが此經御用博士を除く外は生憎誰れもれ眼に止まら無い、來て居る、必ず來て居るが何樣人數が夥しいので新聞記者などは見出し得ぬ、エーテーに入りて三人鼎座、平民の有難さには白下衣に汗を滲らす必要も無く冷しビールの雜談で統監閣下を送つた、と謂へば些と失禮かも知れぬが實際だから已を得ぬ南大門外で俥から轉げ落ちた岡次官は幸に怪我は無かつた

民團役所が特志で打揚げた煙火の中空に響くと共に老統監の乘られた列車はピユーと滊笛一聲轆轣の音を發して後に殘るは唯長い煙りばかり……三人は醉ふた、軈て南大門前にも馬車も俥もカラになつた午後五時の傾きかけた太陽は未だ熱い(一記者)

●避暑案内

▲金剛山　江原道にありて韓國中最も景勝の地なり山中には數多の寺院あり創立の年代最も古く寺中數百の僧徒を養ふ曾て暴徒の根據地たりしも我討伐隊の掃蕩に依りて今は平靜に歸せりこ韓人は此山を以て長白山に次ぐの靈山となして其尊崇する所たり山中の奇景珍景は他に其比を見ず道程は少しく遠けれど健脚を試むるには最も適當の道程にして避暑の地として好適なり

●電線窃取

八日午後九時六十分頃平安北道鐵山郡車輦館及び東林間の鐵道管理局專用電信線電柱第百五號同第百六號間約二十五間を切斷窃取せらる而して切斷の個所は人家なき山腹にして鎚を以て切斷したるもの〻如く其目的は通信を妨害するの意思に非ず全く電線窃取を目的とせる如し尚ほ調べも附かず困り居りきと

●極端なる男嫌ひ

新潟縣中蒲原郡川東村富豪細谷ツル(四十)は生來全く男を知らず極端の男嫌ひにして飲食物も男の手に掛たるものは食はず遠方にて製したる菓子饅頭にても男が造りたる者は臭を嗅いで之を辨知し敢て手を觸れんともせず此女容貌捨て難きものあり年頃となりてより今に至るまで矢竹心の若殿原我れこそはと手練を盡し射向ひたる者數を知らねど一人として功名したる者なし去程に此頃名に負ふ一人の猛者命に懸けても射落して呉んと一夜便所より忍び入りしにツルは忽ち目を覺し兼ねて用意の短刀にて腕を斬附けしが此事問題となり警察の手にかゝらんとせしも仲裁する者ありて漸く示談となり是よりツルは逞ましき牝犬二頭を飼ひ常に教へて曰く男を見たら吼ゐて咬み附け

●裸体の狂漢

十三日午後八時五拾分頃明治町派出所の巡査が管内見張中明治町三丁目方面より裸体素足の狂漢何事か猛り立てゝ南大門通りに向ひ疾走し去らんとするより這奴危險と銅峴通りに追及して取押へられたるが此の狂漢は明治町三丁目香田初吉方同居佐賀縣唐津生れ小池虎吉(四二)と云ふ精神病者なりしを以て香田を呼び出し引渡されたり

クレシン荷着

丹波博士新發明
消毒藥クレシン(五千磅荷着)
惡疫流行の兆ある氣節に際し帝國陸海軍御專用品消毒防臭藥クレシンの輸入を爲し大に販路擴張を企圖すクレシンは石炭酸を壓倒するの効力を有す

一手販賣　東京銀座一丁目　高田商會販賣部
第十三師團御用品　京城本町二丁目
一手販賣　韓國　四ケ所商店　電話三二一

●催促逃走の狂言

南部會洞日本人某方に雇はるゝ金化敬(三十)と云ふは豫て中部青布廳後谷趙召夫方金南山(十八)と云ふに金十四圓餘を借り居りたるが一昨日午後五時頃右金南山は催促の爲めに金化敬方に至りたるに化敬は南山に支拂ふべき金子を所持せざる處より一狂言演らんと目論見何とも云はずに其場に有合せたる劍を取るより早く四方を斬り卷り薙ぎ拂ひ亂暴を働きたる末自分の咽喉に突き立つる眞似をなしたるより大騷ぎとなり遂に會洞派出所の巡査出張して取鎭め其儘警察に引致したり

●醉漢

昨朝六時頃理事廳に一人の韓人醉倒れ居り前後正体も無き有樣を南部の警官發見し留置所に擔ぎ行きて取調べんとするもれど言語不通にて昨日午前中には何とも取

●韓童掏り損ふ

朴今童(十一)と云ふ未だ乳臭い總角は一昨日本町通りにて龍山居住土木業崎田寅吉(六)が通行中の隙を窺いポケツトに手を差入れて懷中を掏り取らんとしたるを發見され何を猪口才なと其儘警察に引致されたり

●腐れた桃を鬻ぐ

南部詩谷居殿德鉉は昨日午前九時頃明治町三丁目丸山警視總監前にて腐敗したる桃を販賣し居りたるを發見され投棄を命せられたるも聽かず遂に警察に引致さる

差押保證金
訴訟印紙料
凡て訴訟費用便利御用達可申に付精々御利用被成下度候
京城長谷川町一丁目和泉法律事務所隣　坂本兵太郎

●科料一束

明治町三丁目一二九番地一明伊三郎(五十)は無鑑札にて氷水を販賣したる廉にて科料金一圓に△旭町四丁目眞下大吉(三十)は荷車を路傍に橫へ通行の妨害を爲したる廉にて同じく三十錢に△本町三丁目西脇長右エ門(五十)は燈火なき自轉車に乘りたると道路にて練習をなしたるとにて同じく一圓に以上何れも昨日處分されたり

●チブスと天然痘

漢城病院看護婦藤井ハナ(三十)は腸窒扶斯に太平町一丁目花田岩太郎(四)は天然痘に罹り何れも昨日其筋に屆出でたり

●拾得品

一昨夜十一時頃本町第一銀行前にて敷布一枚を拾得したる者あり警察に保管中とは厄介なこと

●白川一座乘込む

曾て記せし新派俳優白川廣一田宮貞雄一座は一昨日本町座に乘込み明十六日より開場することゝし狂言は一番目『闇の浪花津』二番目は既報の電氣仕掛雪月花なりと

●白川一座御見得狂言

別項白川一座の御見得狂言は●一番目闇の浪花津全六幕●二番目電氣應用雪月花三幕にして役割及び場割は左の如し

寶田夫人定子(今井仲藏)家令松浦兵庫義山和尚(石巻靜馬)チビ權吉(伊藤泰一)家從大澤二郎(葉山光男)家從高林(土居榮)愛妾たま英、根來寅吉、田宮貞雄(岡島吉雄)佃玄策(南郷越龍)赤木軍藏(中川謙)乳母村越れ歌(小泉賢祐)軍藏女房れ兼(寺西秀之)男爵藤島豐(秋山三郎)機械上行方(佐藤一雄)船員井上(喜多小三郎)編澤れ大(三浦松之助)妹れ米白拍子花子、女優椎野靜子)藝妓一龍(島村史郎)公爵寶田具房、高山彥九郎(白川廣一)

闇の浪花津場割
序幕　東京橋場寶田邸、向島綾瀨河畔
二幕　大阪今宮居酒屋、木津川堤防
三幕　天下茶屋聖天山同村越れ歌住居
四幕　難波佃玄策隱家
五幕　阿部野寶田別莊門前、同奧庭大雨
結幕　同西敎禪寺境庭
二番目　電氣應用劇
雪月花
雪　滿洲の苦戰
月　高山彥九郎勤王義談
花　娘道成寺

●天氣豫報(自十四日午後六時至十五日午後六時)

南又は西の風晴

十四日午前六時各地氣象概況

一般に風力弱く北韓は晴天仁川に濃霧其他は曇天なり

廣　告

ヘルプは腸の機能を整ひ吸收力を強め下痢を止む
醫學博士柏村先生創製の
下痢症の理想藥
り腹止めヘルプは
●痢病●消化兒答●赤痢●コレラ●時候あたり●水あたり●食傷●胸痞へ●腹氣を催す病症●總て下痢を止め腸胃を整ふ
定價　拾錢　貳拾錢　參拾錢　五拾錢　壹圓
登錄商標

●ヘルプは各藥店にあり無くば本舖へ
本店東京日本橋區通四町目(振替一六〇番)
支店大阪大寶寺町堺筋南入(振替三一六三番)
本舖　東京　大阪　津村順天堂　本店　支店
●ヘルプは腸の消化を助け滋養の吸收力を旺盛ならしむ

洋服及附屬品
並雜貨各種
安く賣ります
明治町壹丁目
大阪屋支店

月刊　朝鮮
每月一回一日發行
定價廿錢　郵稅一錢　一切前金
京城本町二丁目　日韓書房

陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌所
京城本町二丁目
陶榮商店
電話壹壹參番電信略符ト
振替貯金口座壹五七壹壹

インキは
丸善
センチュリーインキ
丸善センチュリーインキ
東京、京都、大阪

○土耳古金口煙草GD
インペリアル
茶褐色スポルト
各種
京城代理店
歐米雜貨商
京城本町六丁目
岡野商店

廣　告
當行發行の銀行券中壹圓券は今般左記說明の如く改版致し本年八月一日より在來の舊券と並用可致候間此段廣告候也
明治四十一年七月
株式會社第一銀行韓國總支店
改版壹圓銀行券樣式の概略
一、縱二寸四分橫四寸三分の長方形にして表面左方に韓國水原府華虹門の眞景を圖し一般に數文字を多く用ゐ印刷極めて細密なり
一、中央に橫楕圓形の空白を設け中に李花と大極(巴)との韓國々章を漉込あり
一、色彩は表面は濃淡二樣の靑色と淡紅色とにして裏面は濃紅色と淡靑色なり

謹　告
エジプト葉及マニラ葉卷其他煙草類各種西洋雜貨洋酒洋菓並に支那糖菓及紅茶六神丸特約販賣　但有名なる上海製造のものに御座候
謹告在韓清國人
大連　頭彩金壹萬圓　第三十五次(陰曆六月九日陽曆七月廿七日)
安徽　第廿次(陰曆六月廿一日陽曆七月十九日)
湖北　頭彩金五万圓　第七十八次(陰曆六月廿四日陽曆七月廿二日)
確實發賣如遠離地方御購求希望者御贈金並書留信料添贈急速御用命通可贈付不誤主顧
定價　大連彩票全紙金七圓五拾錢(小切八拾錢)　湖北彩票全紙金壹圓參拾錢　安徽彩票全紙金壹圓貳拾錢
京城水標橋唐街　西洋雜貨　商源號
支店　南大門通小龍洞　源發號

新築落成入院隨意
眼科　內科　外科
明治町壹丁目本町座前
松岡醫院
電話架設中

親箱ノ意匠ガ頗ル高尚ニシテ贈物ニ好適ノ評アリ
韓國煙草界ノ大發展ヲ見ヨ
新製品
黄巻
安價金三錢
拾貳本入

發賣披露トシテ
當分金貳錢五厘
廣江商會
今ヤ毋國製品ヨリ優良ナル物ヲ生産シ得

西の宮た樂の述懷（廿九）

◎合名臍繰銀行

元よしの女將が八百藏さんに逆上せ方は非常なもので片時放さず八百藏さんを引き付けて置くといふ工合デスから八百藏さんの言ふ事は何に依らずハイ〳〵といつて一寸も厭といつた事はありませんサア斯うなると世界の噂が大變で「元よしの女將の病氣が再發し此頃は八百藏熱に浮かされてイヤもう目がクラム程だ冗談ぢやないよ本統に困つたもんさ併し斯うなると其橋渡しをしたのは那のたらくさんだと聞て居るがれらくさんもれらくさんぢやアないか那れ程噂の立つて居た情夫を何んぼ何だつて人に押しつけて宜くもあゝ濟まして居られたもんさね……イヤ何でも此りやアツコには底もあり蓋もあるといふ事情づくがあるに相違ない……早く元よしの女將が目を醒まして二番目の大修羅場といふやつを見たいものだ」とイヤもう無責任も甚だしい事を言ひ散らす何程取るに足らぬ言ひ草にしろ斯樣な事が耳へ這入つて見ると餘り宜い氣持は致しません併し慾い言ひ譯がましい事をいつちやア却つて疑を増す道理だと考へましたから座敷などで他の藝妓衆と顏を合はせると此方から先くゞりをして「如何か宿の八百藏さんを宜しく御贔負に願ひます御推量の通り八百藏さんと二人グルになり元よしの女將の臍くりを捲き上げに掛つて居りますから遠からずれらく八百藏合名臍くり銀行といふ銀行を立てゝ御覽に入れませう……如何か今暫らくの御辛棒アヽラ評判〳〵」杯と茶にして掛りますが一度立つた噂といふものは消ねませんもので私の濡れもナカ〳〵干し切れなかつたには實に閉口いたしました兎角する内八百藏さんの芝居も打ち上になり此れから仙臺を引き揚ぐるといふ事になると元よしの女將がナカ〳〵八百藏さんを放さない此れには八百藏さんも大弱りで又私に迄相談を掛けましたが此れには私も手の出しやうがない併し八百藏さん程の俳優が片田舍の仙臺で一生を終るといふ譯にも參りませんから元よしの女將には實に氣の毒ではあるが、は一先づ別れる事にしやうとの咄が纏つて私と八百藏さんとが同道して元よしに出掛けて行つて右の譯をコン〳〵噛んでふくめるやうに咄をすると小首を傾けながらチツとして聞て居た女將が急にイキ〳〵となり「ハア宜く分りましたちやア私も胸を据へて稼業を疊み八百藏さんの往く先々へれ付き申して參りませう……何の稼業をしないたつて今迄丹精をして溜た金がムいますから與逆喰ひッグれもいたしますまい御迷惑でも子……親方什麽かソウして下さいナ……」と飛んでもない事を言ひ出しました（つゞく）

産科。婦人科。小兒科
京城本町八丁目
醫科大學産科婦人科專攻醫學得業士
山崎病院
山崎宗三

入院 内科 外科 小兒科 産科 花柳病
時隨
京城旭町一丁目
安東病院
電話九一三
院長 安東貞一郎

民刑訴訟鑑定 登記漢城府手續 諸願屆代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買金錢 貸借其他諸般ノ仲介
京城本町一丁目 民役所前
岡田事務所
取次電話六二一四

鰻丼 蒲燒
京城南山町三丁目
天金

營業目錄
和洋雜貨 文房具 測量製圖器械 洋家具
東京銀座 合名會社 玉屋商店 直輸入品及自製品 韓國特約販賣店
東京奈良 古梅園製墨 卸賣は便利なる御相談に應ずべし 韓國代理店
東洋インキ株式會社特約販賣店
專賣特許東京堀井 丸善インキ及バラ齒磨粉特約販賣店
鐵毛筆謄寫版 日韓貿易株式會社一手代理販賣店 韓國一手特約
日本政府 煙草特約販賣店
大日本麥酒株式會社專賣店
東京 岩瀨盛春堂製筆韓國特約店
大阪 足立製 不易糊特約販賣店
大阪毎日新聞社 大阪朝日新聞社 京仁特約販賣店
東京大阪數十書籍店特約販賣

仁川本町二丁目 町田文本店（電話四十五番） 總支配人 中川喜七郎 主任 町田政太郎
同 本店向へ 町田書籍部 新聞雜誌（電話四百卅一番） 主任 管野武
京城本町三丁目 町田文支店（電話一二六番） 主任 山本幸太郎
同 二丁目 文林堂（電話百七十五番） 主任 末佐野勝次郎 定
同 二丁目 文林堂内 用達部 新聞雜誌掛（電話百七十五番） 主任 町田文次郎

町川原永井古 田合井上矢 文市善直貞正三 次郎松助次次郎 町田文次郎

右店員一同車輪の働きを以て勉强可仕候得ば不係多少御用命被下度奉懇願候

書籍文房具 新聞雜誌 部擴張 營業主
弊堂と京城仁川に於ける日本人書店の開祖にして開業拾有九年の老舗なり今や日刊日本新聞紙京城のみ一千有餘雜誌一千有餘の配達數を算するの盛況を告げ益々繁忙を極むるの光榮ある今日あるを得たるもの各位の特別なる御引立と弊堂の正直と勉强の實を愛せらるゝの外ならざれば永く雜貨部の兼業とするは愛顧諸君に忠實なる所故に無之候得ば今回本町三丁目平田書籍新聞雜誌部とを合併し專門的に營業從勉强可仕候得ば倍舊の御愛顧を蒙り度奉願上候也
本町二丁目三井物産向へ
文林堂（電話百七十五番）

生石灰製造販賣
仁川電話六十二番
八田商店
特約販賣店
京城本町二丁目 電話八十五番
林田商店
龍山榮町電話一二九番
田淵藥店

醫學得業士 伊藤助先生二十年間苦辛經驗幾千試驗を經て可き一大發明
官許 たむし丸
●たむし、いんきん、しつ特効藥
藥價（内用藥）一名（一ヶ月丸）五日分五拾錢 十日分九拾錢 廿日分一圓六拾錢 三十日分二圓十錢
本劑は塗り藥に非ずして輕症は十日間乃至二十日間連服重症と雖も三十日乃至四十日間連服に依り根治し再發且つ内攻の患ひなからしむ
●遠地患者御注文の節は送料内地八錢、清韓三十錢、を要す●賣捌は全國到處の賣藥店に請賣す若し取次所無き地は本舖へ向け小爲替又は振替口座へ御拂込被下度候
東京市日本橋區浪花町（浪花局隣）（電話浪花四〇六一番）（振替口座一四〇七三番）
發賣本舖 龍雲堂藥舖

謹告
一牛乳 壹合金八錢
事業の改善と乳牛價格の騰貴、飼料の不廉其他諸費用の増加に依り萬不得已來る七月十六日より前記の通り小賣直段を定め益々善良なる牛乳發賣仕候間可然御承諒の上御高需の程奉願上候 敬白
京城南大門外 韓國畜産株式會社
京城南大門外 荒井牧場
京城大和町一丁目 平山牧場
京城大和町三丁目 水田新乳軒
京城櫻井町 生々舍

白井石材大販賣
京城永樂町三丁目

神佛葬具請負 並 佛具販賣
貧困者は特志取扱申候
京城南山町四丁目（花月向）
左文字屋
取次電話八四九番

齒科全般の治療
米國最新式義齒
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子
京城本町六丁目（敷そば横町）

貸地
一龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側約五千坪
但し五十坪を一區として割貸
右將來多望の地貸附申度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也
京城明治町一丁目 森村太郎
京城本町二丁目 林田金次郎

表裝專門 並ニ金屏風
表具師 竹堂
京城壽町二丁目

◎日本瓦製造販賣
弊店儀今般左記の所に移轉致し從前の通り營業仕り候間相變らず御愛顧の程伏而奉懇願候
京城古市町（保稅倉庫前）
濱本商店

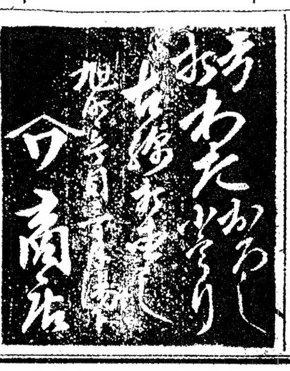
第二回荷着
一蚊帳 一久留米絣
一綿類 一備后縞絣
一浴衣地 一布團地
珍柄種々アリ
京城明治町一丁目（電話二六一番）
卸商 唐川商店
龍山旭橋通 唐川支店

日本澤庵 味噌醬油製造 乾物罐詰 銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

會席御料理

京城本町八丁目
富士見樓

●内務省免許衛生試驗濟
滋養 補血 鐵冷鑛泉 驗效如神
●陸海軍赤十字社御用品●
●鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候
入浴時間 自午前七時 至午後十二時
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷溫泉



檢查濟
氷卸販賣
旭町一丁目（電七四五番）
益田氷庫
販賣所 南山町 掬翠樓前

●新聞料 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金□錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新聞社 電話六六三番